

令和7年度の児童相談所における児童虐待相談対応件数(速報値)の詳細

1 県全体の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の状況

児童相談所と市町を合計した県全体の虐待相談対応件数は過去3番目の多さとなった。

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	増減(R7年度－R6年度)(増減率)
児童相談所対応件数	662	688	852	742	730	-12(- 1.6%)
市町対応件数	606	613	779	904	782	-122(- 13.5%)
県全体	1,268	1,301	1,631	1,646	1,512	-134(- 8.1%)

2 児童相談所の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の内訳

①虐待相談の経路別(主なもの) 警察からの割合が最も高く、約4割を占めた。

	R 6 年度(構成割合)	R 7 年度(構成割合)	増減(増減率)
家族・親戚	60(8.1%)	37(5.1%)	- 23(- 38.3%)
近隣・知人	16(2.1%)	9(1.2%)	- 7(- 43.8%)
警察等	261(35.2%)	298(40.8%)	+ 37(+ 14.2%)
学校等	219(29.5%)	226(31.0%)	+ 7(+ 3.2%)
その他	186(25.1%)	160(21.9%)	- 26(- 14.0%)
合計	742(100.0%)	730(100.0%)	-12(- 1.6%)

②主な虐待者別 実父と実母がほぼ同じ割合を占めた。

	R 6 年度(構成割合)	R 7 年度(構成割合)	増減(増減率)
実父	295(39.8%)	319(43.7%)	+ 24(+ 1.1%)
実母	375(50.5%)	309(42.3%)	- 66(- 11.3%)
その他	72(9.7%)	102(14.0%)	+30(+ 41.7%)
合計	742(100.0%)	730(100.0%)	-12(- 1.6%)

③虐待の種類別 前年度に引き続き、心理的虐待の割合が約5割を占めた。

	R 6 年度(構成割合)	R 7 年度(構成割合)	増減(増減率)
身体的虐待	246(33.2%)	282(38.6%)	+ 36(+ 14.6%)
性的虐待	10(1.3%)	11(1.5%)	+ 1(+ 10.0%)
心理的虐待	408(55.0%)	362(49.6%)	- 46(- 11.3%)
ネグレクト	78(10.5%)	75(10.3%)	- 3(- 3.8%)
合計	742(100.0%)	730(100.0%)	- 12(- 1.6%)

④被虐待者の年齢別 前年度に引き続き、小学生の割合が最多となった。

	R 6 年度(構成割合)	R 7 年度(構成割合)	増減(増減率)
0～3 歳未満	76(10.2%)	75(10.3%)	- 1(- 1.3%)
3 歳～就学前	164(22.1%)	133(18.2%)	- 31(- 18.9%)
小学生	302(40.7%)	309(42.3%)	+ 7(+ 2.3%)
中学生	134(18.1%)	145(19.9%)	+ 11(+ 8.2%)
高校生・その他	66(8.9%)	68(9.3%)	+ 2(+ 3.0%)
合計	742(100.0%)	730(100.0%)	- 12(- 1.6%)